

令和5年度 中津川市立神坂小学校 学校経営基本構想

市の方針
市:「よりよいひとりだち」 生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成 ・機能する組織 ・面倒見のよい先生 ・身に付くまで 地域:人育る(ひとねる)

学校の教育目標
かしこく なかよく たくましく

児童の実態(課題)
・自己表現しようとするが、言語能力が定着しておらず、個人差があり、話し合いが深まらない。 ・課題に対して真面目に取り組むが、臨機応変に対応したり、創意工夫したりすることに弱さがある。 <全国学調・自校アンケート参照>

学校経営の重点
自己肯定感とたくましさを育む 個々のよさを発揮させ、認め、価値付ける指導を継続することで、自己肯定感を高める。 ○確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ子 ○仲間のよさを認め合い、よりよい関係を築く子 ○目標をもち、努力し続ける子

学ぶ喜びのある授業づくり
○自分の考えをもち、伝え合う子の育成 ・「話せる子」の育成 (伝え合いができる交流の場の工夫) ・基礎学力の定着 (チャレンジタイムの充実・ICT活用) ・読書指導の推進 ・学習環境整備(ユニバーサルデザイン) ・伝統文化(三味線活動)の継承 思いを伝える 80%

仲間を大切にする生活集団作り
○よさを認め合う信頼関係の構築 ・発達段階を踏まえた「あいさつ」指導と「ぽかぽかタイム」の活用 ・働くことの喜びを感じられる指導 (係活動、当番活動、清掃活動) ・基礎的な生活習慣の確立 (神坂小7か条・健康教育・食育) ・危機管理能力の育成 発達段階に応じた挨拶 80%

どの子どもが自己肯定感をもって学び活動できる支援体制の構築		
連携を密にした支援体制	機能的な教育相談体制	学級指導を支える学校体制
関係諸機関との連携による具体的な対応・支援計画づくり	いじめの未然防止・早期発見・早期対応、心のアンケートの活用	ケース会議等、組織的な動きによる支援

職員集団のあり方
○子ども一人一人に寄り添い、ねばり強い指導・支援をチームとして協働する。 ・状況と時間を意識した柔軟で迅速な対応 ・思いが語れる風通しのよい職員室 ・全職員が組織で対応する一体感

カリキュラムマネジメント
・児童の実態把握による目標設定と適切な手段を検証するPDCAサイクルの確立 ・ふるさとに誇りをもち、探究的な学びをする総合学習と神坂小の伝統文化として教え合いにより高まり続ける三味線活動

神坂学校をめざす姿『ふるさとに学び、働きかける子』 ～自己実現に向かうたくましさの育成～	地域・保護者に開かれた学校
12年間を見通し、子供達の課題解決のために幼小中の連携・協働を進める。 ○調整会 … 合同行事等の検討と連絡調整を図る。 ○連携生活部 … 基本的な生活習慣と思いやる力を育てる。 ○連携学習部 … 確かな学力と学びに向かう力を育てる。	・三味線活動を地域へ啓発 ・情報発信(HPの活用、各種たより) ・地域行事への参加 ・地域との連携(見守り隊) ・学力アッププログラムの活用 ・メディアコントロールの推進